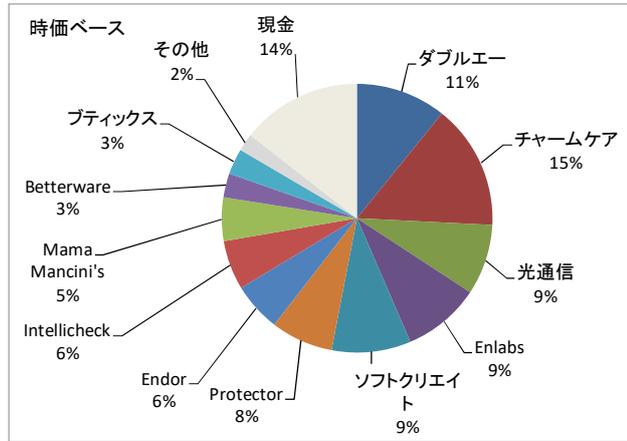
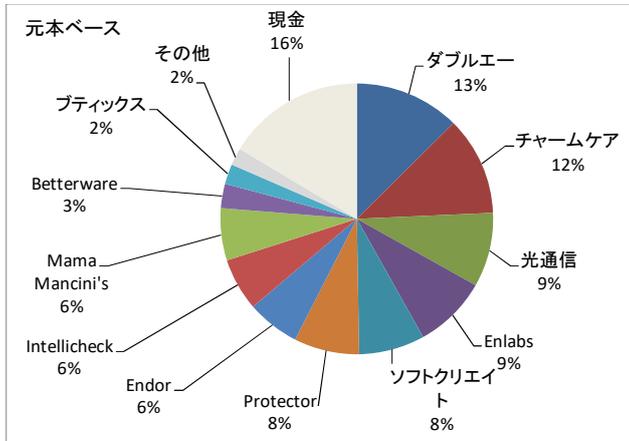
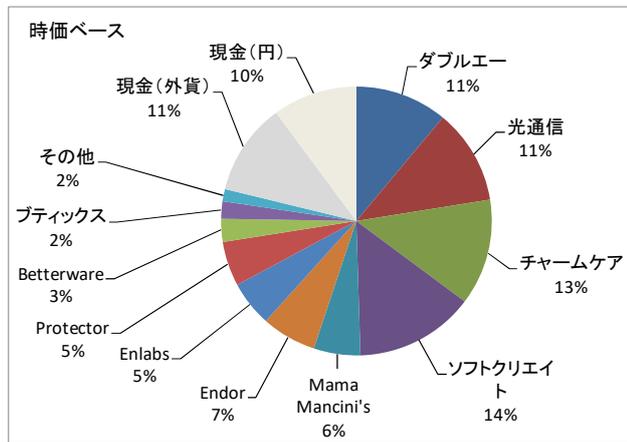
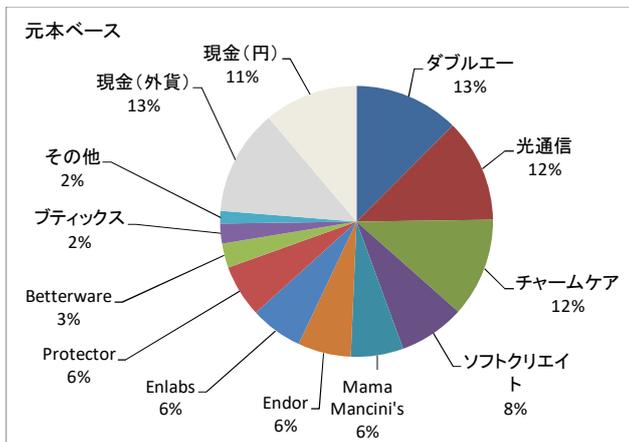


みなさま、

11月末のポジション報告をお送りします。



比較のため、10月末のポートフォリオは以下の通りです。



投資とツイッター

普段、ツイッターを利用していますか？私は、コロナ以前は全く利用していませんでした。もし本当に良い情報を知っている人がいたとして、わざわざツイッターでツバクはずがないだろう、と決めつけていました。今年の3月、コロナ情報を求めてネットを徘徊するうちに、ツイッターで投資アイデアを詳細に解説している人たちがいることに気が付きました。最初は、「どうせ適当なことを言ってるに違いない」と気に留めていませんでした。

Jeremy Raper という人が、GAN というオンライン賭博システム提供企業（詳細は4月のポジション報告）について、ツイッターに続き、ポッドキャストで話している内容を聞き、ようやく筋が通っていることを理解しました。Jeremy さんについて調べてみると、米ハーバード大卒、ゴールドマン・サックス証券で東京勤務、ヘッジファンド勤務を経て、現在は個人投資家をしているそうです。オンライン賭博の事をそれほど分かっていない私が計算しても、当時の株価が割安であることを理解できました。おそろおそろ資産の2%を投資してみたら、瞬く間に4倍ほどになり、後追い投資に完全に味をしめてしまいます。

それ以降、毎日のようにツイッターを眺めていると、どうやら世界中の優秀な個人投資家や小規模ファンドマネー

ジャーが情報交換しているということが分かってきました。Jeremy Raper さんのコメントから、Sahara (イギリスの個人投資家) や Connor Haley さん (米ハーバード大卒。米国で Alta Fox Capital という小さなヘッジファンド運用)、Andreas Aaen さん (デンマークで SymmetryInvest という小さいヘッジファンド運用) など芋づる式に実力ある投資家が見つかり、彼らが本当に自信を持っている投資アイデアを共有しているという事実に驚きました。私に分からない点をメッセージしてみると、ご丁寧に返信までくれます。

ツイッターというと、匿名性を武器にした暴力的なコメントによる「炎上」が注目されますが、その裏では有益かつ正しい情報をシェアすることで、豊かな関係性が築かれていることを知り、目から鱗でした。コロナ禍の負の側面に着目しがちですが、一方ではコロナが普段のルーティンから抜け出すきっかけとなり、進化のきっかけをもらったような気がします。災い転じて福となす、という言葉の通りです。

日本株のアイデアは自分で見つけることが多いですが、私が投資している海外株アイデアのほとんどはツイッター発です。他人の真似はカッコ悪いと思っていた時期もあったのですが、今ではそういう感情は全くなくなりました。より良いアイデアがあるなら、むしろ教えてもらいたいと、少しは素直に思えるようになりました。

長友

2020年11月30日@Moosomin (Toronto から Banff まで、3500 キロの車旅行の途中です。3日運転して残り1000キロまで来まして、明日到着予定です。)